

ALIA 国際会議歓迎会 挨拶

2013 年 12 月 19 日 〈木〉

京都造形芸術大学学長 尾池和夫

ALIA の設立後、初めての国際会議に多数ご参加くださいます、ありがとうございます。開催地の大学を代表して、皆さまを心から歓迎します。

皆さまを迎える京都の地は、1300 年の歴史を持つ古都で、かつて長期間都が置かれたことによる豊かな文化を保持し、しかも近代都市として今なお発展を続けている、世界的に見ても珍しい都市です。

変動帯 (deformation belt) にある断層盆地の特性によって、三方を山に囲まれた盆地には豊かな地下水を蓄えており、その水を活用して、茶道を生み出し、京料理や日本酒の伝統を育んできました。またそれらを楽しむための西陣織や京舞を初めとする、さまざまな伝統芸術を伝えています。私はこれを「変動帯の文化」と呼んでおりますが、これはまたアジア地域に共通するものを持っている概念だと思っています。

今回の国際会議を進める中で、皆さま方が、このような京都盆地の伝統文化を十分に体験していただけることを願っています。国際会議の開催を前に、今夕の晩餐会を楽しくすごして下さることを、心から願っております。

多くの方々のご参加を、もう一度感謝して、ご挨拶といたします。ありがとうございました。